

令和 年 月 日

様

拝啓

このようなお願いをするのは気が引けるのですが、恥を偲んでこの手紙をしたためました。あなたも知っているように、私はこれまで一人でどうにか暮らしてきました。しかし、歳には勝てず最近では買い物に行くのも一苦勞です。近所の方やボランティアの方に手助けをしてもらい、なんとかやっていますが、限界にきています。

そのため、申し訳ありませんが、同居をお願いしたいのです。以前あなたから同居の提案を持ちかけられたとき、私が断ってしまいました。何をいまさらと思われるかもしれませんが、どうかお願いいたします。

敬具